

『北海道クルーズ・旅客船メルマガ』は、クルーズ振興が海事振興にとどまらず、地域振興、観光振興にも寄与することから、クルーズ情報に限らず、フェリー・旅客船に関する情報や一般海事情報、地域観光情報等も含め、幅広くご提供したいと考えております。

<目次>

1. 全 道：クルーズキーパーソンへ北海道の魅力を紹介！
～道内港湾と周辺観光地の視察を実施～
2. 情 報：モニターより初クルーズの感想をいただきました
～「にっぽん丸」クルーズモニターの感想をご紹介します～
3. 情 報：改装後の「にっぽん丸」で『春の那覇・奄美大島クルーズ』
～読者モニター1組2名を募集～
4. 情 報：日本クルーズ&フェリー学会2019年度総会・講演会
～北海道クルーズ振興協議会からパネリストとして参加～
5. 室 蘭：虻田高校生が遊覧船で観光ガイドを実施
～高校生らしい視点で洞爺湖の魅力を紹介～
6. 情 報：あなたも「海マジ！」に参加してみませんか！
～19歳・20歳はマリンアクティビティが無料になる！～
7. 情 報：「クルーズなんでも屋」vol. 55！
～クルーズをもっと身近に！～
8. 事務局からのお知らせ

1. 全 道：クルーズキーパーソンへ北海道の魅力を紹介！
～道内港湾と周辺観光地の視察を実施～

北海道クルーズ振興協議会では、「地域の観光資源を活用したプロモーション事業」の一環として、クルーズ客船の新規寄港誘致と定期・定点クルーズ定着を目指すため、今年も海外クルーズ会社のキーパーソンをお招きして、道内港湾と周辺観光地を視察いただく事業を行いました。視察の様子については、北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧ください。

○北海道クルーズ振興協議会ホームページ（協議会ニュースのページ）

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise21/news/20191106-1news.pdf>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 野村
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

2. 情 報：モニターより初クルーズの感想をいただきました
～「にっぽん丸」クルーズモニターの感想をご紹介します～

今回のモニタークルーズでは、にっぽん丸の「飛んでクルーズ北海道Dコース」に乗船いただき、お二人にとって初めてのクルーズ旅行を体験していただきました。

モニターの方からご提供いただいた感想と写真は、以下のURLにてご紹介していますので、是非ご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise21/news/20191106-2news.pdf>

また、にっぽん丸は、来年就航30周年を迎えますが、その節目の年に

約50日間をかけて、改装を行うそうです。
今年も大好評でほぼ満船ということでしたので、新生「にっぽん丸」の「飛んでクルーズ北海道」も期待大ですね。

なお、改装の詳細については、雑誌「CRUISE」最新号で特集されておりますので、ご覧ください。(好評発売中)

https://www.cruise-mag.com/current_mag/index.html

○にっぽん丸オフィシャルサイト

<http://www.nipponmaru.jp/>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 野村

<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

3. 情報：改装後の「にっぽん丸」で『春的那覇・奄美大島クルーズ』 ～読者モニター1組2名を募集～

雑誌『CRUISE』は2019年で創刊30周年を迎えます。長年にわたるご愛顧に感謝して、海事プレス社では「クルーズ読者モニター」を1組2名を募集いたします。

日 程：2020年4月24日（金）～27日（月）4日間

コ ー ス：那覇～奄美大島（名瀬）～横浜

募集人数：1組2名様 コンフォートステート

応募締切：2019年12月25日（水）必着

○応募方法や応募先等の詳細については下記URLをご覧ください。

<https://www.cruise-mag.com/monitor201910/index.html>

○にっぽん丸オフィシャルサイト

<http://www.nipponmaru.jp/>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 村野

<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

4. 情報：日本クルーズ&フェリー学会2019年度総会・講演会 ～北海道クルーズ振興協議会からもパネリストとして参加～

日本クルーズ&フェリー学会は10月26日、大阪市内で2019年度総会及び講演会を開催しました。

クルーズ振興に関するパネルディスカッションも行われ、北海道クルーズ振興協議会から鎌田佳宣（北海道運輸局海事振興部旅客・船舶産業課長）がパネリストとして出席し、北海道のクルーズ振興について紹介しました。

また、離島航路セッションではハートランドフェリー（株）の蔦井孝典社長が登壇し、フェリーを使って巡るアイランドホッピング旅行と離島の活性化についてディスカッションを行いました。

○詳細については下記URLをご覧ください。

https://www.cruise-mag.com/news.php?obj=20191029_04

<問い合わせ先>

5. 室 蘭：虻田高校生が遊覧船で観光ガイドを実施
～高校生らしい視点で洞爺湖の魅力を紹介～

北海道運輸局室蘭運輸支局では、今年も北海道虻田高等学校（以下：虻高生）と連携して「遊覧船ガイド育成プロジェクト」を実施しました。

遊覧船ガイド育成プロジェクトは、平成27年度にスタートし今年で5年目となります。

遊覧船ガイドの実施に向けては、事前にさまざまな学習を通じてガイドに必要な知識を習得し、そこで得たものを高校生らしい視点、感性を生かしながら自分たちでガイドメニューを作成し、本番では実際の修学旅行生や日本人観光客をお迎えしてガイドを行いました。

ガイド本番の様子は北海道クルーズ振興協議会のホームページで紹介しておりますので、そちらをご覧ください。

○北海道クルーズ振興協議会ホームページ（協議会ニュースのページ）
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise21/news/20191106-3news.pdf>

<問い合わせ先>

北海道運輸局室蘭運輸支局入江町庁舎 矢島
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

6. 情 報：あなたも「海マジ！」に参加してみませんか！
～19歳・20歳はマリンアクティビティが無料になる！～

『海マジ！』は、19歳・20歳は無料でマリンアクティビティを体験できる若年層需要創出プロジェクトです。2018年より開始し、2019年度で2期目となります。2019年度は、2019年6月13日（木）～2020年3月31日（火）の期間実施しており、2019年10月24日（木）より、新ジャンルの「旅客船」が登場しました。

クリスマス・バレンタイン・ホワイトデーなど、記念日イベントが多い秋冬に、非日常感が味わえる「旅客船での船旅」を拡充することで、若年層が海に触れる機会をより一層創出していきます。

○詳細は下記URLをご参照願います。

https://www.recruit-lifestyle.co.jp/news/travel/nw28580_20191024

※『海マジ！』は国土交通省が旗振りをする「C to Seaプロジェクト」の協賛企画として、UMI協議会、（一社）日本旅客船協会、（一社）日本長距離フェリー協会の協力により実施しています。

○詳細は下記URLをご参照してください。

<https://majibu.jp/umimaji/pc/>

<問い合わせ先>

北海道運輸局海事振興部 旅客・船舶産業課 村野
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

7. 情 報：「クルーズなんでも屋」vol. 55！

～クルーズをもっと身近に！～

「クルーズの魅力」については、メルマガを長くご覧いただいている読者の皆さんは、既にご存じのことも多いとは思いますが、今一度ご紹介します。

なんと言っても、船に乗ること自体が旅行の主目的であり、非日常を体験することです。決して航空機や鉄道等の代替輸送機関ではありません。また、船内では、「食」はクルーズの大きな楽しみの一つですが、旬な食材でのレベルの高い食事を堪能出来る他、ショーやカルチャー教室などの各種イベントやエンターテインメントを楽しめ、停泊地では観光地を巡ることも出来ます。

一方で「クルーズは高額な旅」とのイメージはありませんか。確かに高額なランクの船やお部屋によっては高額になりますが、移動運賃、宿泊費、お食事代が込み込みなので、そんなに高額ではない商品もご紹介します！

「クルーズの魅力」

①らくらく

大きな荷物は事前に宅急便で送り、船で荷物を受け取れます。また、同じお部屋に滞在しますので、重いスーツケースを持ち歩く必要はありません。

外国に行くコースでは、煩わしい入国審査も船任せです。寝ている間に次の目的地に到着します。

②安心・安全

厳格な搭乗者チェックをしています。船内では現金を使うことはありません。また、日本船では船内言語が日本語ですし、和食が食べられます。

③きまま

船内での施設利用では、ほとんど旅行代金に含まれているので、支払いの煩わしさがありません。色々なイベントに参加するのも、のんびり過ごすのも自由です。

④ときめき

限られた空間を何日か共有することで、お客様、乗組員との出会いがあります。生涯長くお付き合いできる「友人」ができるかも！

⑤感動

大海原に行く景色、海上からしかみることの出来ない絶景、野生動物との出会い、夜のデッキは天然のプラネタリウムとなっています。

まだまだ、書き切れない魅力が満載です！
是非、クルーズの旅を経験してみませんか？

詳しくは、「クルーズをもっと身近に！」（（一社）日本外航客船協会）を参照してください。

<http://www.jopa.or.jp/tegoro/tegoro.html>

<問い合わせ先>

<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

8. 事務局からのお知らせ

▼1

クルーズ寄港情報や過去のメルマガジンについては北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

▼2

購読新規登録はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_1.html

▼3

登録変更

件名を【登録変更】とし、変更前・後のメールアドレスをご記載の上、
当メールにご返信願います。

▼4

登録解除

件名を【登録解除】とし、登録解除アドレスをご記載の上、当メール
にご返信願います。

北海道クルーズ振興協議会 事務局
国土交通省 北海道運輸局 海事振興部
旅客・船舶産業課 村野 司
TEL : 011-290-1011 FAX : 011-290-1021
mailto : hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp
